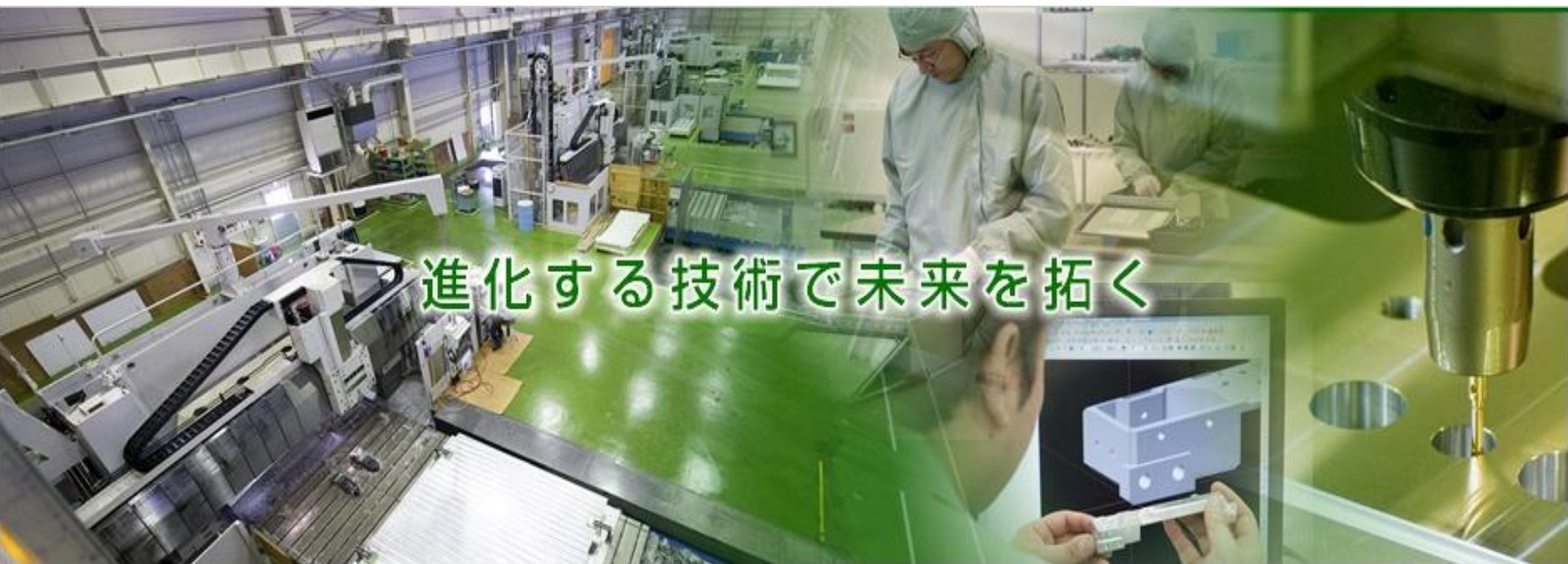




東証マザーズ(TSE Mothers):6264

# 株式会社マルマエ 平成26年8月期 第1四半期決算説明会

平成26年1月17日  
大手町サンケイプラザ 202号室



進化する技術で未来を拓く

# 1.決算概要



## P/L分析

P/L

	平成25年8月期 第1四半期累計期間		平成26年8月期 第1四半期累計期間		
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合(%)	対前年同期 増減率(%)
受注高	384	—	397	—	3.3
受注残高	253	—	197	—	▲22.2
売上高	259	100.0	311	100.0	19.9
売上原価	192	74.1	236	76.0	22.9
売上総利益	67	25.9	74	24.0	11.2
販売管理費	49	18.9	47	15.3	▲3.0
営業利益	18	7.0	27	8.7	49.5
経常利益	18	7.3	25	8.1	33.1
特別損益	▲0	—	9	3.2	—
当期純利益	17	6.9	34	11.0	90.5
EPS(円)	1,029.91	—	1,961.57	—	90.5
EBITDA	46	—	51	—	10.8

Point

### ①受注状況

- FPD分野: 142百万円  
(対前年同期: 47.5%減)
- 半導体分野: 178百万円  
(対前年同期: 66.4%増)
- その他分野: 75百万円  
(対前年同期: 1,351%増)

### ②売上高

- 対前年同期19.9%の増加 ※分野別詳細は次頁

### ③売上原価・売上総利益

- 材料費: 16百万円増  
(対前年同期: 40.0%増)
- 外注加工費: 12百万円増  
(対前年同期: 44.7%増)
- 減価償却費: 3百万円減

### ④営業利益

- 販管費は横ばい(対前年同期: 3.0%減)

### ⑤営業外収益/費用

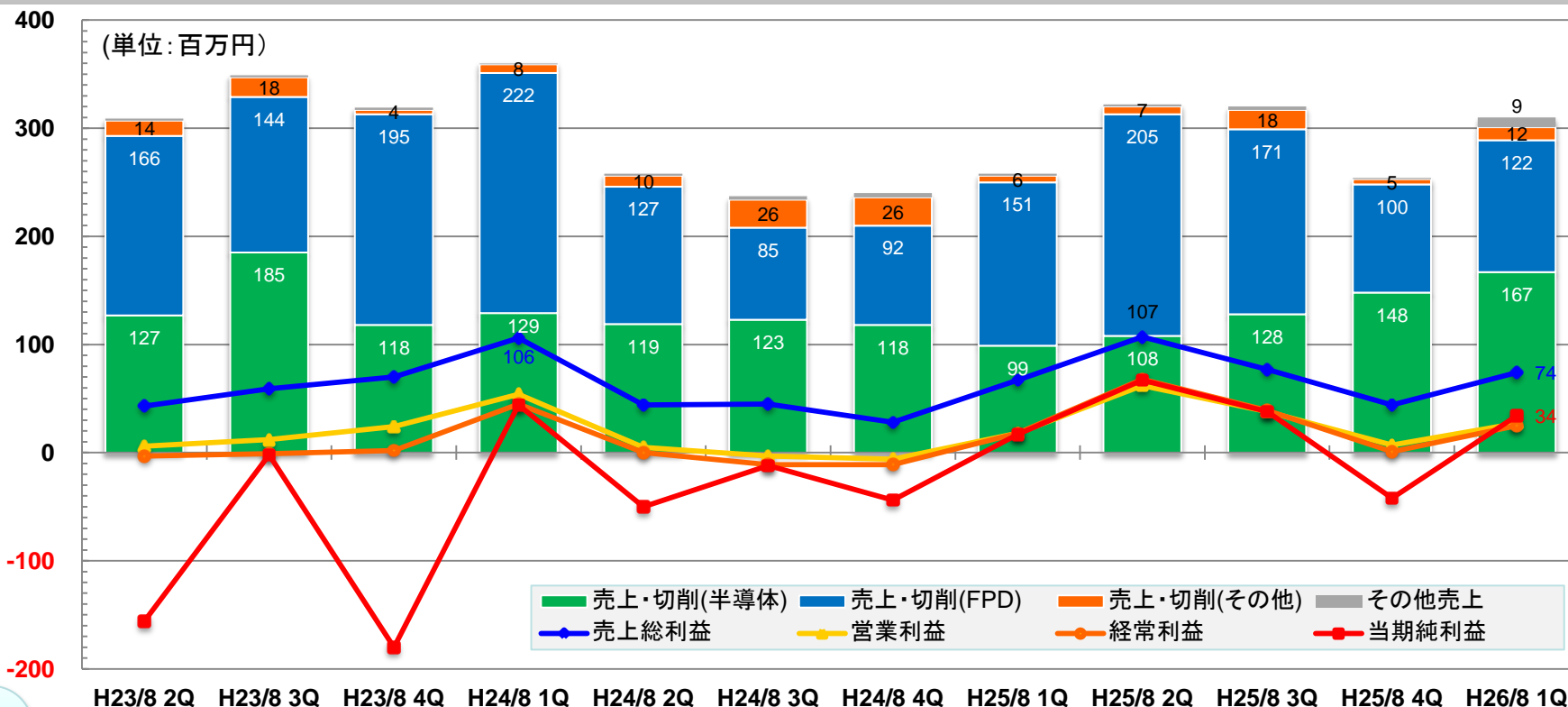
- 為替差益: 1百万円、支払利息: 4百万円

### ⑥特別損益

- 補助金収益: 10百万円

# 1.決算概要

## 四半期業績の推移



Point

### ①売上高は、半導体分野がけん引

- FPD分野: 122百万円(対前年同期: 19.3%減)
  - ・ 独自技術を生かし消耗部品を受注
- 半導体分野: 167百万円(対前年同期: 67.9%増)
  - ・ 市場環境の好転と生産体制強化
- その他分野: 12百万円(対前年同期: 100.1%増)

### ②損益面では売上高の増加と生産性向上で順調

- ・ 受注品種の変化により、材料費と外注費が増加
- ・ 生産性改善により営業利益を維持
- ・ 固定費削減効果が寄与
- ・ 特別利益の計上

# 1.決算概要

## B/S分析

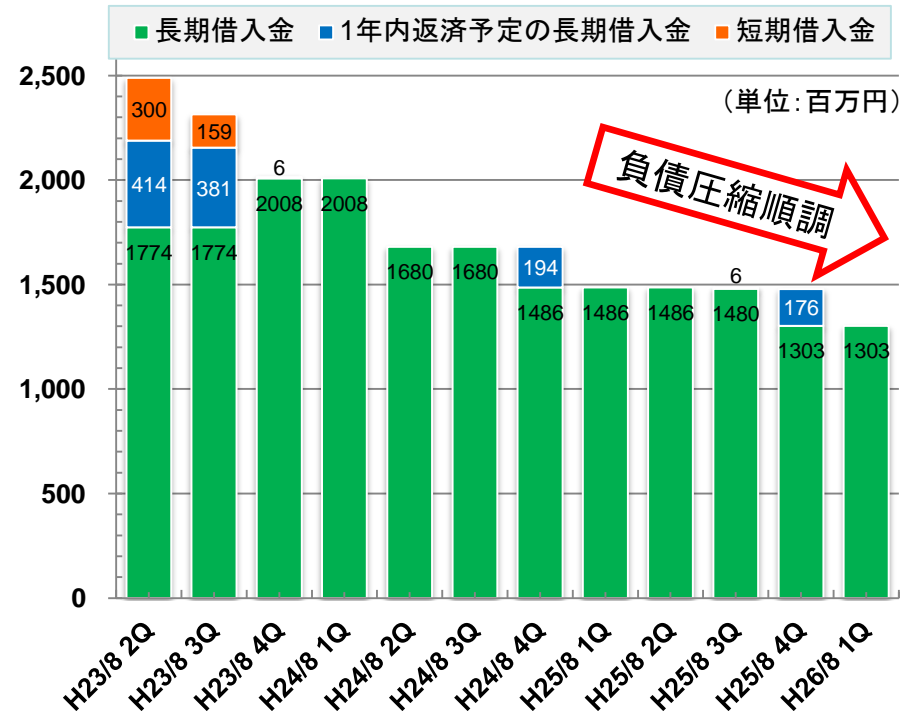
B/S

(単位:百万円)	平成25年8月期 会計年度末	平成26年8月期 第1四半期末
流動資産	747	627
現金及び預金	326	160
受取手形・売掛金 電子記録債権	370	383
たな卸資産	40	62
固定資産	913	916
建物・土地	586	582
機械及び装置	230	276
流動負債	261	111
有利子負債(短期)※	176	—
固定負債	1,305	1,305
長期借入金	1,303	1,303
負債合計	1,566	1,416
純資産合計	93	127
総資産	1,660	1,544

※ 有利子負債(短期): 短期借入金+1年内返済予定の長期借入金

Point

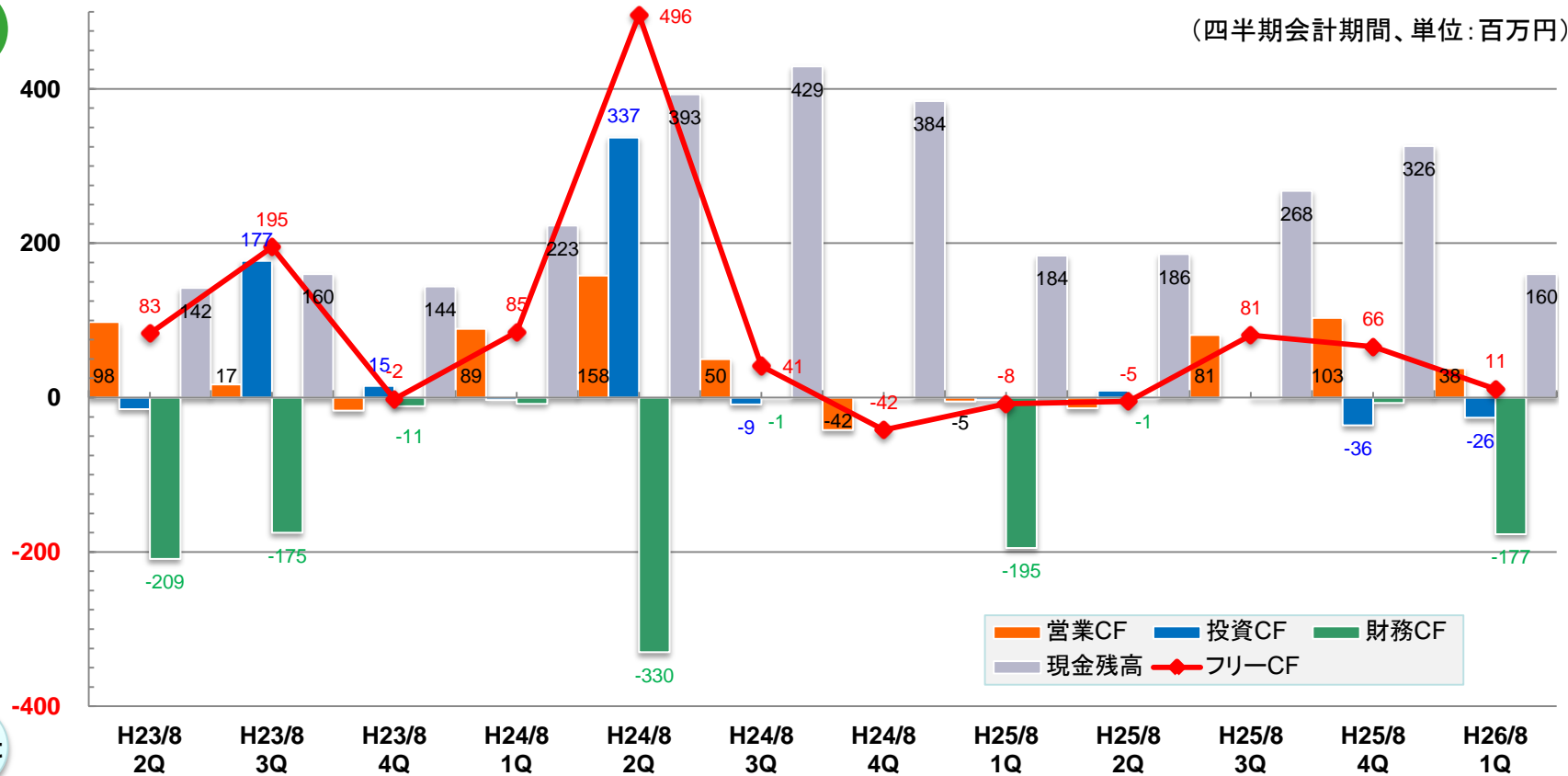
- ① 資産: 1,544百万円(前期末比: 115百万円減少)
  - ・現金及び預金: 166百万円減少
  - ・受取手形及び売掛金等: 12百万円増加
  - ・たな卸資産: 22百万円増加 他
- ② 負債: 1,416百万円(前期末比: 150百万円減少)
  - ・1年内返済予定の長期借入金: 176百万円減少
- ③ 純資産: 127百万円(前期末比: 34百万円増加)
  - ・自己資本比率 8.3%



# 1.決算概要

## CF分析

CF



Point

### ①営業活動によるCF(通期)：38百万円

- 税引前当期純利益による増加：35百万円
- 減価償却費による増加：24百万円
- 受注損失引当金による増加：7百万円
- 売上債権の増加による減少：12百万円

- 棚卸資産の増加による減少：22百万円

### ②投資活動によるCF(通期)：▲26百万円

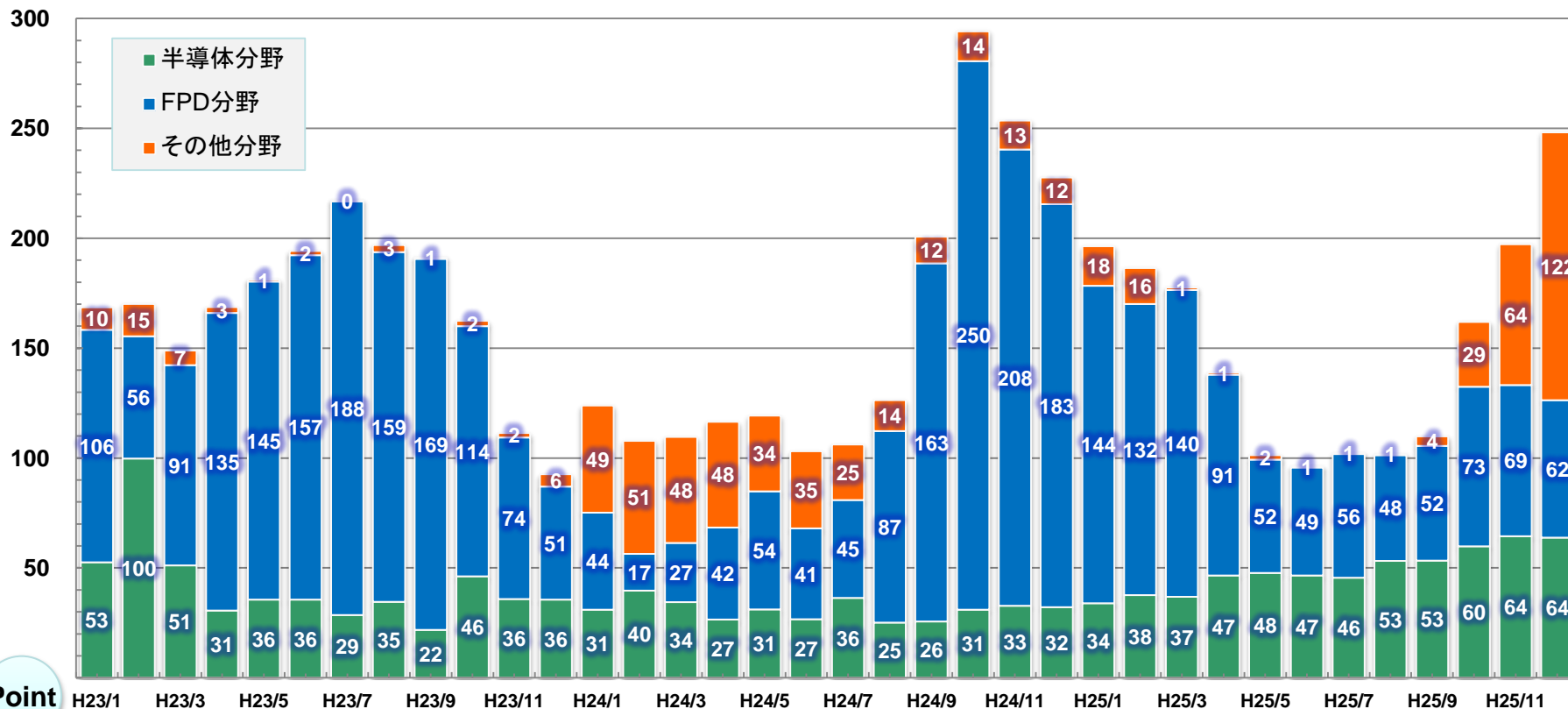
- 有形固定資産の取得による支出：25百万円

### ③財務活動によるCF(通期)：▲177百万円

- 長期借入金の返済による支出：176百万円

## 月次受注残高の推移

(単位:百万円)



Point

- FPD分野は、国外で複数の設備投資案件が計画されながらも停滞傾向が続いた。
- 半導体分野は、受注品種と数量ともに増加傾向が継続し、受注高及び売上高も増加が続いた。
- その他分野は、光学分野の新規顧客からの受注が増加した。

※当社の受注は、案件ごとに長短さまざまリードタイム(LT)があり、LTの長い案件が多いと売上高に比べ受注残が多めで、LTが短い案件が多いと売上高に比べ受注残は低めに表れます。(主に半導体はLTが短く、FPDはLTが長めです)



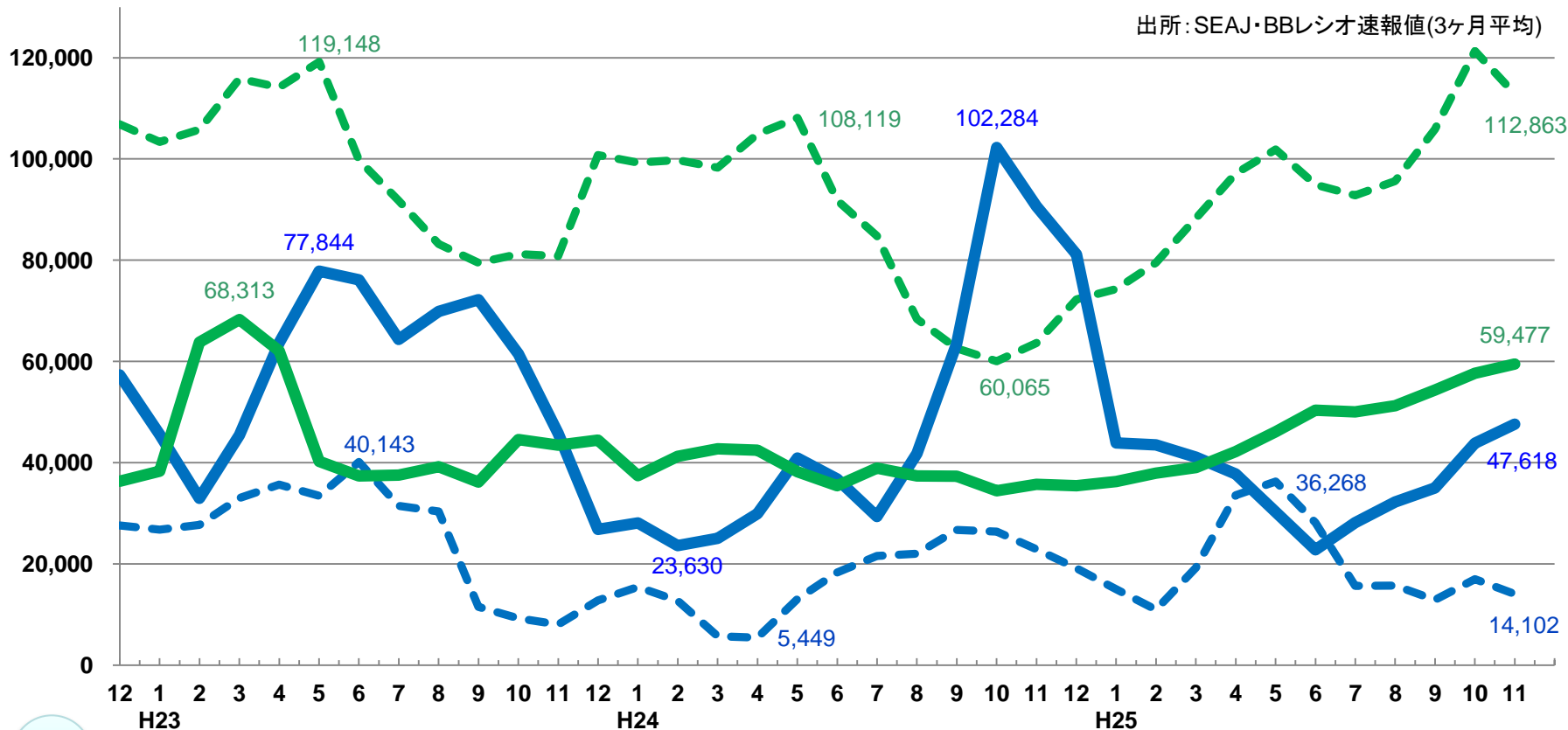
# 2.事業環境

## 市場とマルマエの受注動向比較(3ヶ月移動平均数値)

受注

— FPD製造装置(日本製) 受注額(百万円)      - - - 半導体製造装置(日本製) 受注額(百万円)  
— マルマエFPD分野(切削加工) 受注額(千円)      — マルマエ半導体分野(切削加工) 受注額(千円)

出所: SEAJ・BBレシオ速報値(3ヶ月平均)



Point

- FPD分野では、中小型設備投資の一服で市場環境は一時的な停滞。小規模追加投資の受注が継続。
- 半導体分野は、特に前工程装置の市場環境が順調な上、当社の受注品種拡大もあり増加傾向。

### 販売分野別の環境と営業方針のまとめ

#### FPD分野

- ◆ 足元は一服も下期に向けて中型大型装置の引き合い活発
- ◆ 海外でG5.5とG8の大型案件で複数引き合い
- ◆ 社内生産性の向上で低コスト受注戦略

#### 半導体分野

- ◆ 前工程の好調続くも一部工程は在庫調整余波で一時的停滞
- ◆ 生産管理の手法改善で生産平準化し生産性改善
- ◆ 前工程の消耗品受注獲得に注力し収益安定狙う

#### その他分野

- ◆ ガラスやレンズ表面処理等の光学系装置の受注が増加
- ◆ 自社得意技術活かし、組立含むユニット受注で受注拡大
- ◆ 協力企業の活用により自社能力のみに頼らない生産拡大



# 3.平成26年8月期の業績予想

## 今期の見通し(損益・設備投資・固定費要因)

業績  
予想

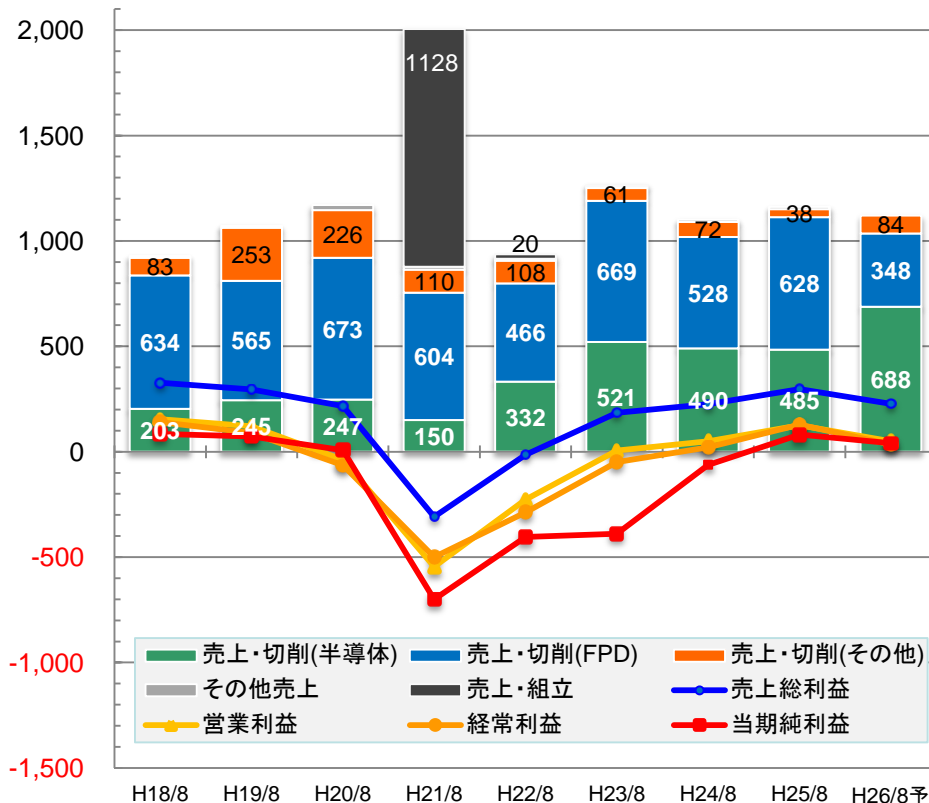
(単位:百万円、1株当たり当期純利益は円)

平成26年8月期 業績予想	売上高	営業 利益	経常 利益	純利益	1株当たり 純利益
第2四半期 累計期間	610	50	44	52	2,980.62
通期	1,120	50	35	40	2,292.79

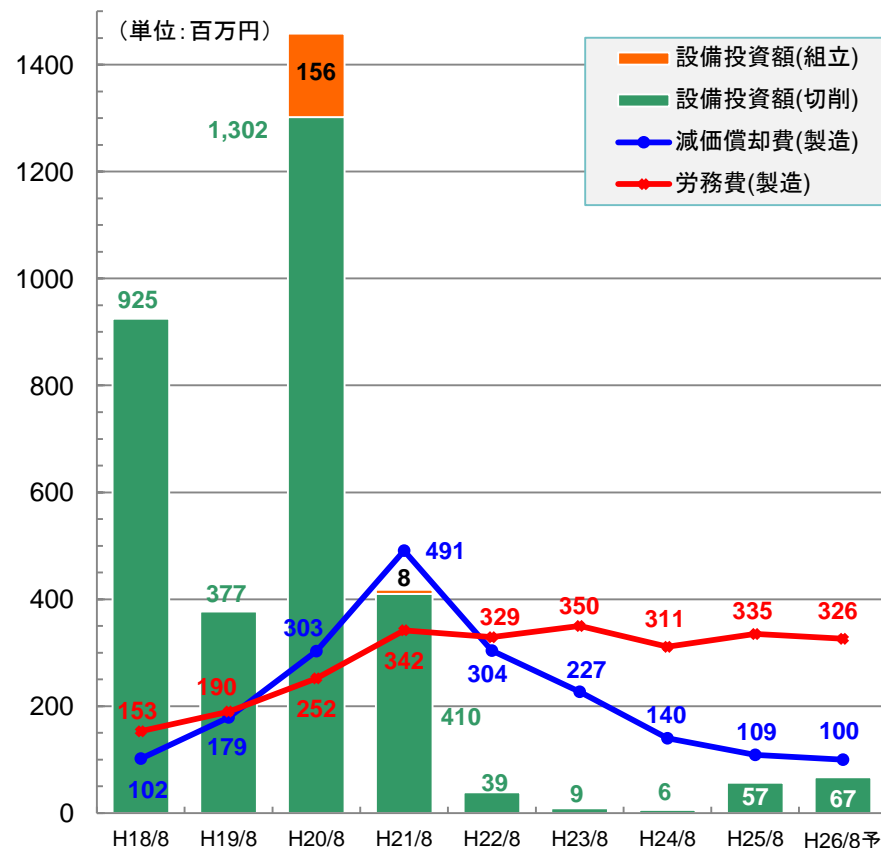
Point

- ✓ 2Q予想の修正(H25/12/27)
- ✓ 半導体分野が好調に推移
- ✓ 光学分野の大型案件の受注獲得

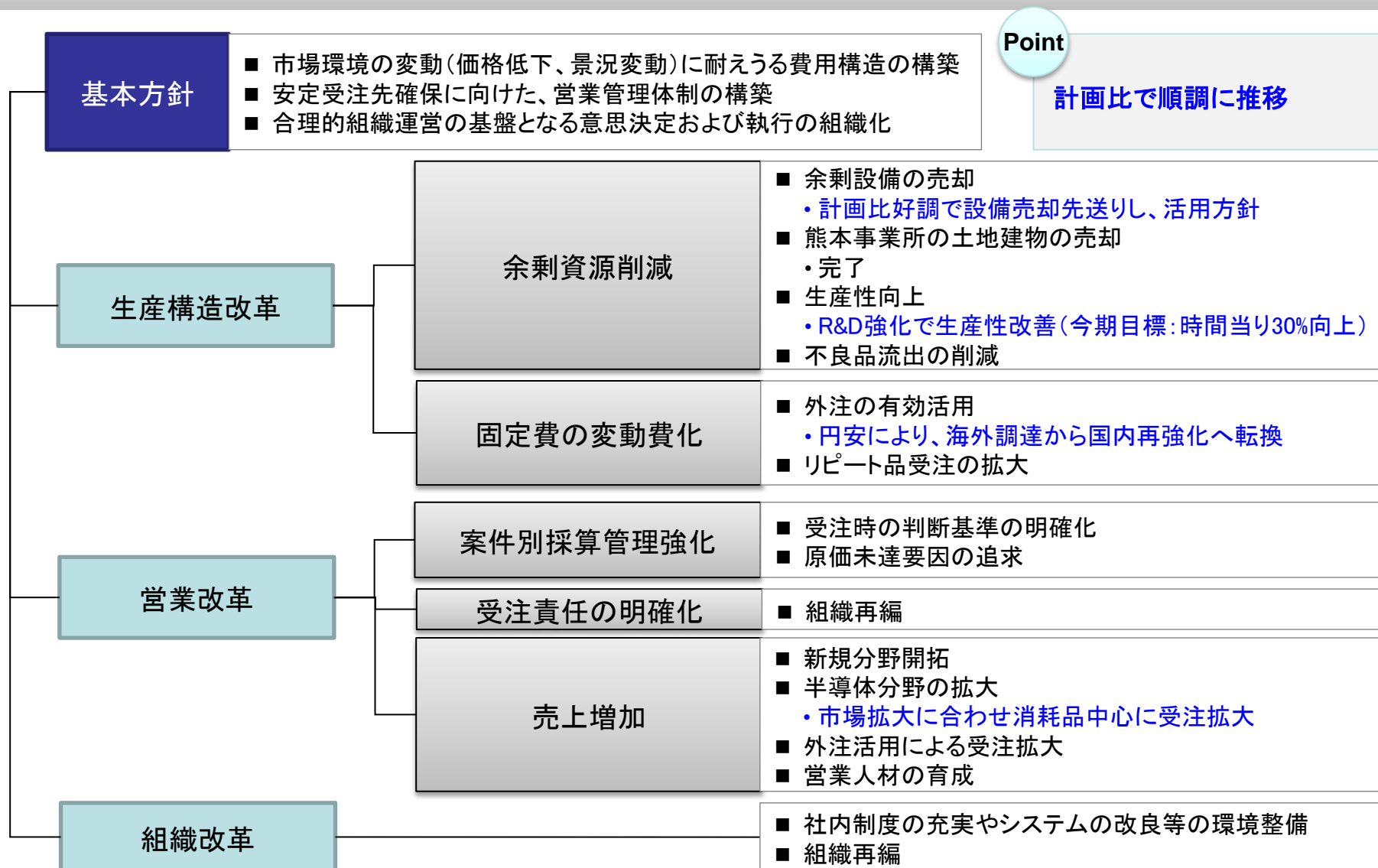
(単位:百万円)



(単位:百万円)



## 事業再生計画の進捗



本資料に掲載された情報、及び、口頭によって説明された実現していない内容に関しては、ある一定の仮定の元に予想された見通しであり、マルマエ経営陣の判断など不確定要素を含んでおります。

本資料は、株主・投資家などの皆様にマルマエの現況と経営方針をご理解いただくために作成されたものであり、利用者に対して、当社株式の購入・売却など投資判断を提供するものではありません。投資に関する責任は負いません。

数値などの情報には注意をはらっておりますが、掲載の内容については未監査の数値も多く、確度を保証するものではありません。また、掲載された情報、またはその誤りについて、その理由に関わらず、当社は一切責任を負うものではありません。

本資料に関するお問合せ先  
株式会社マルマエ 管理部総務課 IR担当

ir@marumae.com

TEL 0996-64-2900 FAX 0996-64-2863



# Company Profile

企業情報

## 進化する技術で未来を拓く

会社名	株式会社マルマエ (Marumae Co., Ltd.)		大株主 (普通株式)	前田 俊一	9,277株
設立	昭和63年10月			株式会社マルマエ(自己株)	1,094株
資本金	1億3300万円 (平成25年11月30日現在)			前田 美佐子	840株
役員	代表取締役社長 前田俊一			マルマエ共栄会	315株
	専務取締役 山元 弘	監査役 児島吉二		前田 良子	300株
	取締役 海崎功太	監査役 寺畑幸雄		五十嵐 光栄	279株
	取締役 藤山敏久	監査役 大道卓		齋藤 格	256株
従業員数	83名 うち 臨時雇用者等17名 (平成25年11月30日現在)			マルマエ従業員持株会	170株
所在地	本社	〒899-0401 鹿児島県出水市高尾野町大久保3816番41		石川 美智子	147株
	関東事業所	〒351-0014 埼玉県朝霞市膝折町2-17-15		川口 直信	139株
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精密機械・精密機器の設計・製造・加工・組立</li> <li>・精密機械部品の設計および製作</li> <li>・溶接部品の設計製造</li> <li>・運送業務</li> </ul>		敬称略 平成25年11月30日現在		
経営理念	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.技術は究極を目指し</li> <li>2.競争と協調を尊び</li> <li>3.技術注力企業として社会に貢献する</li> </ol> <p>経済を支える“モノづくり”の中で、モノづくりの源流である部品加工にこだわっていきます。 そして、さまざまな分野で総合メーカーを支えられる企業となるために先端技術と供給力を持つ部品加工のリーディングカンパニーを目指します。</p>				

## 進化する技術で未来を拓く

年月	沿革
昭和40年4月	鉄工所を故前田務(元社長、元相談役)が個人で創業
昭和63年10月	個人経営の鉄工所をマルマエ工業有限会社(現当社)に改組(出資金2,000千円)
平成4年	オートバイ部品製造目的のT'sM'sR&D(現当社事業)を前田俊一(現代表取締役社長)が個人で創業
平成9年9月	T'sM'sR&Dの事業をマルマエ工業有限会社が引継いでR&D事業部を設置
平成9年10月	R&D事業部にて発電所用タービンプレード受注開始、3次元CAD/CAMの導入
平成12年3月	同時5軸加工機導入
平成13年4月	株式会社マルマエに商号および組織変更(資本金10,000千円)
平成15年12月	鹿児島県出水郡高尾野町(現出水市)に本店移転、新本社工場竣工、大型5面加工機導入
平成16年4月	工場増床、高回転型門型加工機導入
平成16年12月	日本証券業協会によるグリーンシート銘柄指定(証券コード6264)
平成18年2月	鹿児島県出水市知識町に新工場(知識工場)取得
平成18年12月	東京証券取引所マザーズ市場に上場
平成19年2月	熊本県菊池郡大津町の熊本事業所が稼働開始
平成19年5月	経済産業省発表の2007年度版「元気なモノ作り中小企業300」に選定
平成20年3月	本社第4工場竣工
平成20年4月	埼玉県朝霞市の関東事業所が稼働開始
平成20年5月	熊本事業所組立工場竣工
平成20年9月	熊本事業所加工工場増設
平成23年4月	熊本事業所の閉鎖
平成23年7月	事業再生ADR手続の成立

※注 個人事業部分については、月次の確定が困難なため月の記載を省略しております。